



ち い さ な

マチノワ
ストーリー



「マチ」を 思う

普段、生活している中で、「何か、おかしいな」「こうしたらもっと暮らしやすいまちになるのになあ」と感じることはありませんか？「もっと誰かの役に立ちたい」「地域のために何かしたい」と思っている人もいるでしょう。

一人ひとりがまちを思い、考え行動することは、大きなまちの力となります。マチノワとは、「誰もが暮らしやすく素敵なまちに」と思い、行動する市民の力がゆるやかにつながる輪です。

あなたの思いを実現するために、まずはいろいろな活動を「知る」「体験する」「伝える」ことから始めてみてはいかがでしょうか。何かヒントが見つかるかもしれません。

仙台市市民活動サポートセンター（以下サポセン）では、あなたの思いを応援する3つのプロジェクトを行いました。

自分の好きなことや得意なことを活かすきっかけを知る
“ハジマル、フクラムプロジェクト”

身近なところからボランティア活動や市民活動を体験する
“ちょっと。ボランティア”

まちの魅力や暮らしの中で気づいたことを市民目線で伝える
“市民ライター講座2014”

※本書を作成するにあたり、市民ライター講座受講者の方に取材・執筆のご協力をいただきました。

もくじ

「マチ」を思う	1
知る	2
体験する	7
伝える	11
「マチ」の力となる	13
なにかをはじめたいあなたに	14

知る



ハジマル、 フクラムプロジェクト

活動を始めた人たちのお話を聞きながら、参加者の皆さんと「アイデアや想い」をモクモクとふくらませるトークイベントを開催しました。様々な活動を知り、「想い」をもった人たちと出会う場です。自分の住むまちや社会をもっと暮らしやすくするために、自分のできることや、好きなことを社会に活かす方法を見つけてみませんか？

- ◎ 農作業も楽しみながら、環境を守る 3
- ◎ あそび場づくりは、まちづくり 4
- ◎ 食からハジマル、オインイおはなし 5
- ◎ ゲームでひらく、防災の扉 6



農作業を楽しみながら、 環境を守る

開催日 2014年5月29日(木)

会場 サポセン

ゲスト NPOこよみのあしおと 久保田歩さん

農業体験でリフレッシュ

NPOこよみのあしおとは、農家さんの仕事をお手伝いするイベントを通じて、生きもののすみかを守る生物多様性保全活動、人と人との交流と学びの場づくりをしています。「楽しく農作業しましょう!」を合言葉に、環境問題という大きな課題に対し、誰もが取り組みやすい活動を広げています。



▲農をキーワードに、様々な視点を持った参加者と出会いました

大切なのは人と人とのつながり

団体立ち上げ当初から、活動に活かすために、とにかく関心のある講座に足を運んだ久保田さん。様々な知識を深めながら、お話ししたいと思った人とはしっかり名刺交換をし、「私、こんなことがしたいんです!」と自分のアイデアを伝えていきました。関心ごとが似ている人との出会いや対話から、新しいアイデアやコラボレーションが生まれたこともありました。

「いろいろなところに種があり、それが芽を出し、ひとつの大木になるべく伸びた」と久保田さん。すぐに何かが実現しなくとも、日ごろのつながりが、活動を一気にふくらませる種になります。

(取材・文 松村翔子)

団体
情報

NPOこよみのあしおと

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3 LCNo.88

TEL / 080-6027-7836

H P / <http://ktmhp.com/hp/koyominoashioto/>



あそび場づくりは、 まちづくり

開催日 2014年9月21日(日)

会場 サポセン

ゲスト 西公園プレーパークの会 佐々木啓子さん

いつも誰かがいるよ

西公園プレーパークの会は、仙台市青葉区西公園内で、子どもの居場所づくりを目的に自分の責任で自由に遊べる「プレーパーク」を運営しています。プレーリーダーと呼ばれる大人が常駐し、年間200日開催。みんなの「楽しい!」という気持ちを連鎖させながら、活動を展開しています。



▲プレーパークのメンバーは、自分の「楽しい!」を活かしながら活動に参加しています

自分たちのまちにもプレーパークを!

佐々木啓子さんは保育士時代に、子どもの「やりたい」にストップをかけてしまう自分自身の教育方法や教育現場に疑問を感じ、子どもと大人が「やりたい」を実現できる場所、「自分でいられる」楽しい空間をつくりたいという思いから、プレーリーダーの活動を始めました。

お話の中で、「活動は仲間が3人集まれば、始められますよ」と佐々木さん。その言葉に勇気づけられた参加者の中から、さっそく仲間を集めて「多賀城プレーパーク」を開催した人たちが現れました。経験がなくても「伝えたい何かがあればできる!」と即行動。新たな活動が始まりました。

(取材・文 山田和佳子 松村翔子)

団体
情報

西公園プレーパークの会

TEL/090-7562-6154 FAX/022-211-1773

Mail/kurobe_s@nifty.com

HP/http://nishikouen-playpark.jimdo.com/



食からハジマル、 オイシイおはなし



開催日 2014年11月27日(木)

会場 サポセン

ゲスト NPO法人ふうどばんく東北^{あが いん}AGAIN 高橋陽佑さん

余っているのに足りない食べ物

日本では、年間500～800万トンの「まだ食べられる食品」が廃棄されています(農林水産省2010年度推計)。ふうどばんく東北AGAINでは、企業や個人から手つかずの食品(食品ロス)を寄付して頂き、生活困窮者支援団体などへ無償で配る活動をしています。いわばマイナスの課題を誰かのプラスにつなぐ仲介人。



▲「もったいない」を誰かの笑顔に変えるために、私たち一人ひとりができることを考えました

気づいた人からアクションも

高橋さんは、大卒後NPOに就職したことをきっかけに、多くの市民活動と出会いました。その中でも身近な「食」を通じて、人と行政や企業との橋渡しがしたいと考え、ふうどばんくの活動に参加。東日本大震災を機に、事務局長として本格的に関わるようになりました。

「食」を通じて地域社会の様々な矛盾や課題を知り、「自分が始められることは何か? みんなに広げるためにはどうしたらいいか? つねに『なぜ・誰に・何を・これから』を問い続けています」と話す高橋さん。自分の心と対話することで、思いを行動へと変えていきました。

(取材・文 田中尚子 松村翔子)

団体
情報

NPO 法人ふうどばんく東北^{あが いん}AGAIN

〒982-0003 仙台市太白区郡山5-6-2

TEL / 070-6494-7044 FAX / 022-774-1410

Mail / info@foodbank.or.jp HP / http://www.foodbank.or.jp



ゲームでひらく、 防災の扉

開催日 2015年1月18日(日)

会場 サポセン

ゲスト わしん倶楽部 田中勢子さん

楽しく学ぶ防災

わしん倶楽部は、ゲームを通じて防災・減災の知識や心構えを楽しく学び、市民の意識を高めようと、仙台市を中心に活動しています。東日本大震災後、災害時の難しい状況判断を疑似体験するゲーム「クロスロード」を、仙台市民有志といっしょに「みちのく編」にアレンジ。ゲームを通じて必要な備えが見えてきます。



▲クロスロードゲームは、設問に対してYesかNoを示し、互いの議論を深めます

「自分事」から広がる輪

「災害は防げないが、事前に被害を減らすことはできる」と、田中さんが始めた「防災・減災」を広める活動。公共施設のイベントや、学校行事、町内会の集まりなどで防災ゲームを開催。そのたびに、田中さんの思いに共感するファンや活動を共にする仲間と出会い、協力者が増えていきました。

日頃から多くの人々が備えることで、いざというときの被害を減らすことができます。誰でも楽しめる防災ゲームを通じて、防災を自分事として捉え、防災・減災を広める人々の輪が広がっていきます。

(取材・文 松村翔子)

団体
情報

わしん倶楽部

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3 LC No.158

TEL / 022-256-8829 FAX / 022-268-4042

Mail / sendai.seibou@docomo.ne.jp

体験 する



ちょっと。ボランティア

地域や社会のために何かしたいけれど、「何ができるかわからない」「何から始めていいのかわからない」という方に、市民活動を体験する機会をつくりました。NPO・市民活動団体の方々がいっしょにあなたの一歩をサポートします。身近なところで、できるボランティア活動から、ちょっと試してみませんか。

- ◎ カッコイイ! 街のおそうじに参加しよう 8
- ◎ 土の匂いに包まれてあそび場をつくろう 9
- ◎ もったいないもありがとうの笑顔に 10



カッコイイ! 街のおそうじに参加しよう

開催日 2014年8月24日(日)

会場 サポセン周辺

案内人 グリーンバード NPO法人 greenbird仙台チーム

街に出て…

グリーンバードは、全国にチームを持ち、「きれいな街は、人の心もきれいにする」をコンセプトにごみ拾いのボランティアを行っている団体です。仙台チームの方々と一緒に、お揃いのグリーンビブスと黄色い軍手を身につけ、サポセン周辺のおそうじに出発。

参加者は、高齢者から若者まで幅広く、ボランティア初体験の方もいましたが、「街をキレイにしよう!」という同じ目的が、参加者の一体感を生み、初めてでも楽しく活動ができました。



▲人通りの多いところには、ごみは落ちてないけど、人目のつかないところは、たばこのポイ捨てが目立ちました



▲ごみを拾うという姿を見ることで、街行く人々の意識の変化につながればいいなと思いながら活動しました



ごみを拾ってみると

たばこの吸い殻を収集したごみ袋からは、悪臭が…。道を歩く子どもたちが、この臭いを吸い込んでいと思うと考えさせられました。普段何気なく歩いている街の通りも、目線を変えることでいろいろな気づきがありました。

団体
情報

グリーンバード
NPO法人 greenbird

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-35-3-732
TEL/03-5469-5318 FAX/03-5469-5338
Mail/information@greenbird.jp
HP/http://www.greenbird.jp/

(取材・文 遠藤拓哉 葛西淳子)



土の匂いにおまれて あそび場をつくらう

開催日 2014年10月25日(土)

会場 仙台市青葉区西公園グラウンド南側

案内人 西公園アレーパークの会 佐々木健二さん

● まちのなかの公園に…

プレーリーダー佐々木健二さんの案内で、市民による西公園のあそび場づくり活動に参加しました。

大人も子どもも安心して、思いきり遊べる環境づくりの一環として行っている“土の道”づくりは、子どもが、少々転んでも危なくないように公園内を整備する活動です。

小さな石を集め、大きな石は掘り起こし、ガラスの破片など危険な物を取り除いたりしました。活動への参加は自由、飛び入りも歓迎。西公園で活動している佐々木さんに、声を掛けてみてください。



▲公園の利用者同士の交流を促進し、互いに挨拶し合う場として公園の環境を整備する活動にも力を入れています



▲西公園を舞台に、親たちだけではなく、大学生、社会人などたくさんのボランティアが活躍しています



土の道をつくらう

作業をしていくうちにだんだん夢中になり、活動が終わる頃には、でこぼこで石ころだらけだった道が、すっかり平坦になり、心身ともに爽やかな気持ちになりました。西公園のバリアフリー対策にもなる活動でした。

団体
情報

西公園プレーパークの会

TEL / 090-7562-6154

FAX / 022-211-1773

Mail / kurobe_s@nifty.com

HP / <http://nishikouen-playpark.jimdo.com/>

(取材・文 渡邊貴裕 葛西淳子)



もったいないも ありがとうの笑顔に

開催日 2014年12月20日(土)

会場 NPO法人ふうどばんく東北AGAIN^{あが いん}事務所兼倉庫

案内人 NPO法人ふうどばんく東北AGAIN 高橋陽佑さん

もったいない食品が…

まだ食べられるのに捨てられそうな食品を、被災者や生活困窮者に届ける活動の一つ「食品の箱詰め」を体験しました。

倉庫には、米・調味料・缶詰・レトルト・菓子など、全国から寄せられた食品がいっぱい。集まったボランティアの手で一つひとつ丁寧に、段ボール箱に詰めました。「はい、これ回して」「この箱にまだ入っていないよ」と声を掛け合いながら、あっという間に80箱。みんなの想いと一しょに、石巻の仮設住宅や仙台市の家庭へ届けられました。



▲みんなが支えているという“想い”を伝えたい。物資と一しょに、メッセージカードも添えられます



▲箱詰め作業は、毎月1回行っています。ボランティア希望者は、事務局までお問合せください



誰かの役に立つ

なかなかの力仕事でしたが、みんなで助け合い、コミュニケーションが生まれました。食品の重さの分だけきつと、受け取った人たちの笑顔があります。「食品を大切にしたい」「誰かを笑顔にしたい」という人にはピッタリの活動です。

団体
情報

NPO 法人 ^{あが いん}
ふうどばんく東北AGAIN

〒982-0003 仙台市太白区郡山5-6-2
TEL/070-6494-7044 FAX/022-774-1410
Mail/info@foodbank.or.jp
HP/http://www.foodbank.or.jp

(取材・文 安藤綾香 葛西淳子)

伝える



市民ライター講座 2014

文章を書くことが好きな人。まちで活躍する人の話を聞いてみたい人。まちの魅力や地域の課題を伝えたい人。そんな思いを持っている方に向けて、現場で活躍するプロのライター・編集者・新聞記者から、書く力・伝える力を身につける方法を学ぶ講座を開催しました。書いて伝えることで、まちの魅力を発信してみませんか。

◎ まちの魅力を編集しよう! 12



まちの魅力も編集しよう!

ソーシャルメディアなどを活用し、だれもが情報の発信者となる時代となりました。また、フリーペーパー、情報誌などの紙媒体を通じてまちの情報を伝えたいと考えている人も増えているようです。書くことで、「何か社会の役に立ちたい」と思う講座受講者が、2つの地域メディアで自分たちの地域を生き生きと豊かなまちにしようと動き出しました。

市民ライターと

038PRESS (おみやプレス)

038PRESSは、仙台市青葉区宮町周辺の住民が主体となり発行している地域密着型のフリーペーパーです。その活動に興味をもった受講者が、実際に活動に参加。まちに飛び出し、地域の商店街に関わる人々やお店などの取材を通して、自分たちの暮らすまちの魅力を発信していく楽しさを知りました。



▲紙面の企画や、取材先を決める編集会議に参加しました

メディア
情報

お! 宮町地域情報編集局

〒980-0012 仙台市青葉区錦町2-4-48
東六コミュニティセンター内
HP / <http://038press.jimdo.com/>

市民ライターと

河北新報オンラインコミュニティ

現役新聞記者から、記事執筆のノウハウを学ぶ講座を設けました。また発信の場として、オンラインコミュニティ(kacco)のブログや夕刊紙面掲載のチャンスも提供されました。受講者たちは、NPO・市民活動団体を実際に取材することで、地域で様々な活動している人々がいることを知り、伝える面白さを体感することができました。



▲市民が活動する現場を実際に取材しました

メディア
情報

河北新報オンラインコミュニティ

〒980-8660 仙台市青葉区五橋1-2-28
HP / <https://kacco.kahoku.co.jp/>

「マチ」の
力となる

自分たちの暮らすまちや社会をもっと住みよくするために、私たちができることは様々。まちのあちらこちらで行われている市民による活動は、私たち市民の小さな思いから始まったことでした。

活動者との対話から知った楽しさ、活動を体験することで見つけたやりがい、取材をして伝えることで気づいたまちの魅力…「知る」「体験する」「伝える」の3つのプロジェクトを通し、「何かしたい」という思いが少しずつかたちになっていきました。

もし、あなたが「何かを始めてみたい」と思ったら、様々な活動に参加してみてください。あなたの小さな行動が、いろいろなところで共感を呼び、仲間が集まり、社会に広まり、いつか社会を動かす力になります。

サポセンでは、皆さん一人ひとりの小さな思いと行動を応援し、まちの力につなげるお手伝いをします。誰もが暮らしやすいまちになるよう、市民の力が、ゆるやかにつながる「マチノワ（まちの輪）」をいっしょにつくっていきましょう。

次は、あなたの「ちいさなマチノワストーリー」が始まるかもしれません。

ちいさな マチノワストーリー

取材協力
(市民ライター講座受講者)

安藤 綾香
遠藤 拓哉
田中 尚子
山田和佳子
渡邊 貴裕

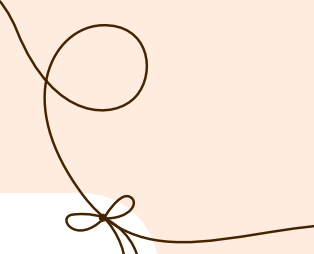
編集スタッフ

葛西 淳子
竹樋 秀康
松村 翔子

デザイン

伊丹 勝彦

※本書は、誘導啓発事業として2014年度に行われた3つのプロジェクトの実施レポートです。



なにかをはじめたいあなたに

思いを整理してみよう。

あなたの好きなことや気になることは何ですか?もし、「こんなことがしてみたい」という思いがふくらみモヤモヤしてきたら、「あなたがやりたいこと」「地域のため・社会のため・誰かのためにできること」「求められていること」を整理してみましょう。

情報を集めよう。

思いを整理してみると、もっと知りたいことが出てきます。市民活動に関するイベント情報・講座・勉強会に参加したり、他にも同じ思いで活動する団体があるのかなど様々な情報を集めてみましょう。

仲間を見つけよう。

あなたの思いを誰かに伝えてみましょう。思わぬ出会いがあるかもしれません。一人ではできないことも、協力者を得ることで活動の幅が広がり、できるようになるかもしれません。市民活動団体、行政、企業など分野の違う人たちと情報交換をするイベントや勉強会などには、積極的に足を運んでみましょう。

ACCESS

ご来館は公共交通機関をご利用ください。

- 地下鉄「広瀬通駅」西5番出口すぐ
- 市営バス「商工会議所前」「電力ビル前」から徒歩3分
- 当施設に駐車場・駐輪場はございません。お車や自転車で来館される方は、周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。

※路上駐車は周辺の迷惑となりますのでおやめください。



サポセン
仙台市市民活動サポートセンター

発行

仙台市市民活動サポートセンター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL/022-212-3010 FAX/022-268-4042
HP/ <http://www.sapo-sen.jp/>

発行日 2015年2月 印刷 今野印刷株式会社